

2025年12月

アセットオーナー・プリンシブル受け入れについて

フジテック株式会社

フジテック株式会社（以下、当社）は、フジテック確定給付企業年金の運営において、アセットオーナー（資産保有者としての機関投資家）の運用・ガバナンス・リスク管理に関する共通の原則である「アセットオーナー・プリンシブル」の趣旨に賛同し、各原則を受け入れることを表明します。

【原則1】

アセットオーナーは、受益者等の最善の利益を勘案し、何のために運用を行うのかという運用目的を定め、適切な手続に基づく意思決定の下、経済・金融環境等を踏まえつつ、運用目的に合った運用目標及び運用方針を定めるべきである。また、これらは状況変化に応じて適切に見直すべきである。

当社は加入者等の生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的に、必要とされる総合収益を長期的に確保することを目標とします。そのため、年金運用委員会において十分に議論を行った上で、運用の基本方針を策定するとともに、当社における状況や環境の変化に応じ、その前提条件との整合性を確認し、定期的に見直しを行います。

【原則2】

受益者等の最善の利益を追求する上では、アセットオーナーにおいて専門的知見に基づいて行動することが求められる。そこで、アセットオーナーは、原則1の運用目標・運用方針に照らして必要な人材確保などの体制整備を行い、その体制を適切に機能させるとともに、知見の補充・充実のために必要な場合には、外部知見の活用や外部委託を検討すべきである。

当社は、運用目標の達成に向けて、運用の基本方針、政策アセットミックスの策定及び見直し、運用受託機関等の評価等に関する審議するため、年金運用委員会を設置します。また、専門的知見を補充・充実させるため、運用委託先及び外部コンサルタントから報告・分析・助言等を受けています。

【原則 3】

アセットオーナーは、運用目標の実現のため、運用方針に基づき、自己又は第三者ではなく受益者等の利益の観点から運用方法の選択を適切に行うほか、投資先の分散をはじめとするリスク管理を適切に行うべきである。特に、運用を金融機関等に委託する場合は、利益相反を適切に管理しつつ最適な運用委託先を選定するとともに、定期的な見直しを行うべきである。

当社は、ALM 分析等も踏まえ、政策アセットミックスに基づいた適切な分散投資とリスク管理を行っています。また、運用受託機関の選任にあたっては、外部コンサルタントの専門的知見を活用しながら、定量評価および定性評価に基づく総合評価を行っています。加えて、運用受託機関を一定の期間毎に評価し、必要に応じて見直しを行います。

【原則 4】

アセットオーナーは、ステークホルダーへの説明責任を果たすため、運用状況についての情報提供（「見える化」）を行い、ステークホルダーとの対話に役立てるべきである。

当社は、加入者等のステークホルダーへの説明責任を果たすため、社内イントラネット等を通じて、確定給付企業年金の業務概況に関する情報提供を行い、運用状況や運用方針などを報告しています。

【原則 5】

アセットオーナーは、受益者等のために運用目標の実現を図るに当たり、自ら又は運用委託先の行動を通じてスチュワードシップ活動を実施するなど、投資先企業の持続的成長に資するよう必要な工夫をすべきである。

当社は、企業年金スチュワードシップ推進協議会へ加入し、協働モニタリング活動を通して、投資先企業の企業価値の向上に寄与し、中長期的なリターンの拡大を図ります。

以 上